

せつつタイムズ

Settsu Times

～撰津小学校 学習通信～第9号

早いもので、もう3月。

木々の芽がだんだんふくらみ、あちらこちらから春の足音が聞こえてきます。学校では、今年度最後の参観・懇談会が終わり、卒業式が近づいてきています。この『Settsu Times』（せつつタイムズ）では、各学年の様々な取り組みや子ども達の様子を紹介してきましたが、いかがでしたか。感想をお聞かせいただけたらうれしいです。1年間ありがとうございました。

1年生

『てがみで しらせよう』(国語)

クラスの中で、みんなが一通必ずもらえるように書く相手を決めて、うれしかったこと、楽しかったことを手紙に書きました。友だちにわたすということだったので、子どもたちはとてもウキウキしていました。書く相手のことを考えて、とてもいいいな字で一息懸命書こうとしている姿が見られました。お手紙交換では誰からももらえるのかドキドキしながら待っていました。



2年生

『見たこと かんじたこと』(国語)

普段それほど馴染みのない詩を、初めて書くということに挑戦しました。イメージマップや書き方の工夫を使いながら書くと、どんどん新しい詩が出来上がりました。

詩は、どれも子どもらしさがあり、独創的で素敵な作品になりました。書いた詩は、クラスで発表し、見方や感じ方が人それぞれであることを学びました。



3年生

『ことわざについて 調べよう』(国語)

国語の授業では、ことわざ・故事成語について調べ、ことわざ新聞を書きました。初めてことわざについて学習したので、悪戦苦闘している子もいました。新聞づくりでは、調べたことを単純に書くだけでなく、イラストを描いたり、4コマ漫画を書いたり、クイズを作ったり読む人を楽しませるような工夫がたくさんありました。



4年生

『十年後のわたし〜』(国語)

2分の1成人式も無事終わり、国語の授業では、十年後の自分に手紙を書きました。過去・現在・未来の自分について振り返ったり、想像したり、自分を見つめ直すよい機会にもなりました。十年後手紙を見たときに、なりたい自分になっているよう、今できることを精一杯頑張っておきたいと思えます。



5年生

『1枚の写真から』(国語)

複数の写真の中から1枚の写真を選び、そこから場所や時間、主人公のキャラクターなどのイメージを膨らませ、起承転結の構成で物語を書きました。推敲をグループで行い、班の仲間からのアドバイスをもとに何度も書き直しながり作りあげました。最後には表紙も付け、オリジナル本が完成しました。



6年生

『忘れられない言葉』

～随筆を書こう～(国語)

随筆とは、経験を通して、自分の思いや考えを書くこと。

構成は①忘れられない言葉、②言葉と出会った時のこと、③自分の思いや考えです。

自分と対話し、苦戦しながらも「随筆」を書き上げました。

